

会 議 録

会議の名称	平成２６年度第４回行田市市民公益活動推進委員会
開催日時	平成２７年３月１７日（火） 開会：午前１０時０５分 閉会：午前１１時００分
開催場所	市役所３階３０５会議室
出席者氏名	金原二郎委員、串田隆義委員、園田佳代子委員、織田和美委員、 鈴木孝佳委員、今村武蔵委員、中村博行委員、村澤洋委員、 稲葉誠一委員、長谷川龍委員、松井秀二郎委員、田尻要委員、 矢本政子委員、矢部正オブザーバー
欠席者氏名	関川忠彦委員、齋藤貴美子委員、野本翔平委員、吉田桂子委員、 加藤修委員、坂野雅英委員、阿部オブザーバー、木村オブザーバー、 東恩納オブザーバー
事務局	門倉課長、吉田主査、秋田主事
会議内容	司会 吉田主査 １ 開会 ２ 委員長挨拶 ３ 議題 (１)行田市市民公益活動推進基本計画について (２)平成２６年度の振り返り及び今後の活動について (３)その他 ４ 閉会
会議資料	(資料１)行田市市民公益活動推進基本計画 (資料２)行田市市民公益活動の推進について（答申）案 (資料３)行田市棄民公益活動の推進について（諮問）
その他必要事項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 委 員 長 司 会 議 長 事 務 局 議 長 事 務 局 議 長	1 開会 2 委員長挨拶 3 議題 ・委員長に議事の進行をお願いする。 ・議事に入る。 ・議題（１）「行田市市民公益活動推進基本計画（以下、計画）について」事務局より説明をお願いする。 ・資料１の計画は、昨年度からのグループワーク、視察を経て策定、（案）について市民意見募集を行ったところ意見はなかった。また、３月初旬には委員にも（案）を送付し意見を求めたが期日までに意見がなかった。そのため、事務局にて誤字・脱字等の確認を行い、現在製本作業に入っている。 ・計画の配布先は、市役所各課、公民館、各ＮＰＯ法人及び市民公益活動団体、各自治会、県内市町村、県内サポートセンター（以下、サポセン）などを予定している。 ・計画は、３月２５日午前１０時３０分より市長へ提言する予定である。 ・市長提言について事務局より説明があったが、提言は本来策定に関わった委員全員にて行いたい、人数に制限があることから、委員長提案として、委員長、副委員長及び公募市民である金原委員、園田委員の４名にて行いたい。意見等あるか。 ―意義なし― ・事務局より説明があった件について、他に意見等はあるか。 ―意見なし― ・計画については、事前にお目通しいただいているので問題ないかと思うが、気づいた点等があれば事務局へ連絡をお願いしたい。 ・続いて、議題（２）「平成２６年度の振り返り及び今後の活動について」事務局より説明をお願いする。 ・平成２６年度は、やる気応援助成金の審査及び計画策定を中心に委員会を進めてきた。平成２７年度も予算が通ればやる気応援助成金の審査がある。また、計画に基づき具体的に施策を進めていく。引

議 長	き続き、活発な意見等をいただきたい。 ・何か意見等はあるか。 —意見なし—
事 務 局	・続いて、議題（３）「その他について」事務局より説明をお願いする。 ・計画にも定めたとおり、平成２７年度は「（仮称）市民活動サポートセンター」の設置を予定している。時期は平成２７年１０月、場所はコミュニティセンターみずしろ（以下、コミセン）内、現在の「市民活動情報コーナー」を予定している。平成２７年１０月から平成２８年度末までは、臨時職員１名を常駐させ、情報収集や発信、広報誌の発行等を行っていく。平成２９年度からは指定管理に切り換え、コミセンの運営と共にＮＰＯ法人等に委託、相談業務やコーディネートにも力を入れていく予定である。 ・サポセンの名称については、県内では市民活動センターとするところも多いが、市民活動を支援していくという設置意義からも「市民活動サポートセンター」としたほうが良いと事務局は考えている。
議 長	・事務局から今後のスケジュール及びサポセンの名称と大きく２つの説明があった。何か意見等はあるか。 ・名称については、この場で決めてしまうのか。
事 務 局	・まずは意見をいただき、来年度までに決定したい。
議 長	・何か意見等はあるか。
中村委員	・名称については、さいたま市で市民活動サポートセンター、春日部市と鴻巣市で市民活動センターとしている。「サポート」という名称を入れるかどうかは来年１０月までに議論を深めていけばよいのではないか。 ・スケジュールについて、臨時職員１名を採用するというのは案と考えてよいか。情報発信等についてはみずしろフェスタなどのイベントも活用して行う必要があるのではないかと。
事 務 局	・情報発信については平成２７年１０月から行っていく。臨時職については、市民活動をしている人や活動をしたいと考えている人など積極的に活動していただける人を採用したいと考えている。サポセンの開所式等の開催は未定であるが、設置前の市報９月号の特集記

議 長 村澤委員 今村委員 中村委員 事 務 局 松井委員 事 務 局	事を使って周知する。より広くしっていただくために開所式を行うのか、みずしろフェスタ等を利用するのかについては、来年度に検討したい。 ・ 補足であるが、サポセンを指定管理とするにあたっては、市の条例の整備、募集期間などを鑑み１年程度はかかると考える。このため、平成２７年１０月からは直営で設置し、平成２９年度の指定管理導入に向けて準備していく。 ・ スピード感を持って実施していくことは大事なことであるが、条例設置等の準備期間を十分に取り、しっかりと進めて行きたい。 ・ 他に何かあるか。 ・ 行田にサポセンができるというのは大変喜ばしいことだと考えている。これまで、他市のサポセンが活発に活動しているのを見て関心していた。１０月にサポセンが設置された際には、市や市の職員に運営等を任せるのではなく、委員が積極的に足を運び、市民活動をサポートして行きたい。 ・ 色々と手続きに時間がかかるのは理解ができるが、できるだけスピード感を持って進めて行きたい。サポセンの設置についての議論は７、８年前から進められてきたのではないかと。担当課職員だけでなく、市の関係各課との横の連携を深めていただきたい。サポセンを指定管理にするのは賛成であるが、もう少し時期を早めることはできないか。計画の策定が終わり、委員のやる気が冷めないうちに早急に進める必要があるのではないかと。 ・ 答申にあたっては、人が大切だと考えている。計画の１７頁①から④にもあるように、人材の発掘と行政職員の意識改革などによりオール行田で進めて行きたい。 ・ 今後については、「地域をつなぐコーディネート」という本にもあるように、委員会メンバーが中心となって、人の能力を引き出す方法についても考えて行きたい。 ・ 現在は、市に指定管理制度はあるのか。また、指定管理を行っている団体等はあるか。 ・ 現在、指定管理を行っているのは社会福祉法人社会福祉協議会（以下、社協）及び公益財団法人いきいき財団である。今後公募による
--	--

松井委員	指定管理も予定されている。 ・そのような状況の中、公募により指定管理が行われるのは、行田にとっては画期的だと考えている。スケジュールについて、スピード感がないとの指摘もあるが、NPO法人等が指定管理を行うことで「自分のまちは自分達で変えていく」という意識改革が大切だと思う。 ・また、サポセン設置にあたり、コミセンという名称も残るのか。
事務局 松井委員	・コミセンという建物名は残る予定である。 ・コミセンは、今までのイメージでは囲碁・将棋や趣味の活動を行う施設という印象が強く、コミセンの中にサポセンが入るということに違和感がある。サポセンの印象を強めるためにも、コミセンの名称を変更するなど何らかの方法を考えた方がよいのではないか。
串田委員	・吹上の図書館が指定管理になり、休日が1日になるなど使い易くなった。パークゴルフ場も同様に指定管理になってサービスが向上したと感じる。そのようなことから、指定管理には私も賛成である。また、サポセンの設置については、新聞に掲載するなど市報以外でも周知するのか。
事務局 園田委員	・新聞社等にも情報提供はしたいと考える。 ・サポセンの設置場所は、コミセンの市民活動情報コーナーだけでは狭いのではないか。1階全体をサポセンにし、ギャラリーを転じスペース等として使用した方が、広がり生まれて良いのではないか。
事務局	・サポセンの設置については、コミセンの耐震工事の説明会にて説明を行い、様々な意見があった。それらを踏まえて当初は、市民活動情報コーナーのみをサポセンとして整備する。スペースを広げる等については状況を見て検討して行きたい。
村澤委員	・私は社協で活動していることが多い。社協の中にはボランティアセンター（以下、ボラセン）があるが、サポセンとの連携はどうするのか、サポセン開設までの半年間に協議していければと考える。
事務局	・ボラセン、サポセンとの情報の集約については計画にも載せているので進めて行きたいと考えている。 ・また、名称について県内25箇所あるサポセンについて、状況をまとめてみたところ、「市民活動サポートセンター」としているところ

	とが、さいたま市、吉川市、宮代町、桶川市の４箇所、「市民活動センター」としているのが飯能市、春日部市、鴻巣市、入間市、草加市の５箇所、「市民活動支援センター」としているのが熊谷市、所沢市、越谷市、ふじみ野市、上尾市の５箇所である。 ・サポセンの設置についてスピード感を持って進めてほしい等の意見は集約し、事務局でも引き続き検討する。
議 長	・他に何かあるか ー特になしー
議 長	・本委員会も今年度最後となることから、発言のなかった委員に一言ずつ意見をいただきたい。
金原委員	・名称については、市民活動センターとした方が、主体性が見えてよいのではないかと考える。サポート、支援というイメージでは市民活動に結びつかないようにも感じる。
織田委員	・私はこれまで女性部の活動を中心に行っていたが、委員会を通して広がり生まれたと思う。
鈴木委員	・名称について色々な意見があるが、サポセンの意義を考えるとサポートという言葉を入れた方がよいのではないかと考える。
稲葉委員	・サポセンとボラセンの話があったが、これらの違いが分かりにくい。どこに相談すればよいのか分からないとならないためにも情報の集約は必要だと思う。また、コミセン内にサポセンを設置する場合、駐車場が狭いのも問題ではないか。
長谷川委員	・名称について、私も活動の内容からサポートという言葉を入れえた方がよいと考える。また、サポセンの周知については市報だけでは足りないと思う。広く活用していただくためにも新聞や公民館等と通じて周知してほしい。
矢本委員	・名称についての様々な議論があり難しい問題だと考える。市民活動センターとして主体的な活動をイメージさせるものよいが、長い年月の間に支援が忘れられないようにサポートという言葉を使用してもよいのではないかと考える。また、場所が狭いという意見も理解ができる。検討が必要ではないか。
矢部オブザーバー 事 務 局	・平成２７年１０月から臨時職員を採用してサポセンを運営するにあたり、職員の取組み方が大切になってくると思われる。ぜひ、積極

議 長 今村委員 事 務 局 今村委員 事 務 局 村澤委員 議 長 事 務 局	的に活動してくれる人を採用し、委員会が支援して有意義な取り組みをしていければと思う。 ・ 他になにかあるか。 ・ 熊谷市のサポセンは支援という言葉が入っていたか。 ・ 市民活動支援センターとなっている。 ・ 熊谷市は公募により職員を募集し、本庄市の職員を採用したが素晴らしい活動をしていると聞いている。本市でも見習って行きたい。 ・ 市報等で募集し、市民活動をしている人、やる気のある人を採用したい。 ・ サポセンを設置した後の情報発信について、団体がホームページ等で情報発信し、市民がパソコンを使って見られるようにするようになりたい。 ・ 他に何かあるか。 ―特になし― ・ 以上で議長の職を解かせていただく。 ・ 以上で第3回行田市市民公益活動推進委員会を終了とする。
--	---